

Project SAとは佐賀大学研究員で構成する藻類研究組織です。

佐賀市の「バイオマス産業都市」選定に伴い、この研究開発に対応するため、学部横断的組織として2018年4月に立上げ、基礎研究から産業化入口まで一貫した協力体制を構築しました。

Project SAは「基盤研究・事業統括部会」を上位部会として、その他5部会（機能成分探索部会、抽出部会、農業利用部会、機能物質回収部会、医療分野開拓部会）からなるプロジェクトです。

この運営は産学連携の窓口機関であるリージョナル・イノベーションセンターのURA(University Research Administrator)が担当します。

ニーズに応じて新たな部会を立ち上げ産官学で連携を図り必要な予算獲得を目指します。

## 基盤研究・事業統括部会

活動内容： 下記の3項目について研究を実施する。各部会との連携を図ると共に、必要に応じて新しい研究部会の創出を検討する。

- ①佐賀市内の微細藻類多様性調査と培養可能な株の選別
  - ・佐賀市内の湖沼の調査とサンプリング
  - ・微細藻類の単離（クローン培養株作製）等
  - ・培養株の維持管理
  - ・自然発生土着微細藻類（名称：さがん藻ミックス）利用検討
- ②選定した培養株の培養とサンプル提供
  - ・小規模培養（数百ml程度）
  - ・増殖速度評価等
- ③大量培養技術の開発
  - ・単一種（クローン培養株）及びさがん藻ミックスの培養装置開発
  - ・培養液の検討（消化液などの利用，下水浄化センターや企業との協力）

### 機能成分探索部会

- ① 機能性を狙いとした有用化合物の探索
- ② 化合物の特性を狙いとした有用化合物の探索
- ③ 有用化合物の単離・構造決定

### 抽出部会

- ① 外被破壊法の検討
- ② 抽出生成物の殺菌方法の検討

### 農業利用部会

- ① さがん藻ミックスを用いたイネの栽培試験
- ② 藻類の種類が作物の生育に及ぼす影響
- ③ 有用物質抽出後の藻類（抽出残渣）の肥培効果

### 機能物質回収部会

- ① 藻類分散液と磁性粒子共存下での膜による脱水
- ② 磁性粒子による糖吸着
- ③ 微細藻類を用いた金属吸着剤の調製

### 医療分野開拓部会

- ① 創傷治癒モデルを用いた有効性評価
- ② ヒト株化細胞を用いた有効性評価

その他・検討テーマ

学内教員から研究提案を受け、予算・契約を鑑みて部会設立を検討

例) 水産利用飼料/畜産飼料/単一珪藻の工業利用

国立大学法人 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター

住所：〒840-8502 佐賀市本庄町1 電話 0952-28-8961